

令和 8 年度第 1 回大正区区政会議

日 時：令和 8 年 5 月 2 8 日（木）

午後 7 時 0 0 分～午後 8 時 3 8 分

場 所：大正区役所 4 階藤井組大正区民ホール

○西尾区政企画担当課長

皆さん、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまから令和 8 年度第 1 回大正区区政会議を開催させていただきます。

本日は、公私何かとお忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の司会を務めさせていただきます区政企画担当課長の西尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

午後 7 時現在、区政会議委員定数 1 4 名のうち出席者は 1 2 名となっております。委員の 2 分の 1 以上の出席がございますので、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第 7 条第 5 項に基づきまして、本会議は有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

それでは、開会に当たりまして、大正区長の村田より御挨拶させていただきます。

○村田区長

皆さん、こんばんは。大正区長の村田です。

今日は夜分にも関わりませず、令和 8 年度第 1 回区政会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。お礼申し上げます。

本日の区政会議につきましては、令和 7 年度の運営方針の振り返りを行った後、これまで皆さんと一緒に議論してまいりました、大正区ってどんなまちやろうということをこの間ずっと皆さんで議論していただいたと思います。大正区のいいところをたくさん出していただいて、その中から今回いろいろ御意見いただいたのを全部 A I に

流し込んで、大正区のことを好きな未来のファンっていうのをですね、大体４パターンぐらいに人物像として分類しました。

A I すごいですよ。あんだけ皆さんいっぱい書いてくれたのをシュッとやってくれるんで、本当に。最終的にはうちの担当で手は入れましたけど。そんな未来のファンってどんな人やろうなっていうのを思い描きながら、大正区これからどんなことができるかなと、どんなことをしたいかなっていうのを皆さんで、これからも考えていきたいなというふうに思ってます。

本日の内容は以上なんですけども、皆さんには、もう既に御存知の方はたくさんいらっしゃると思うんですけども御報告したいんですけども、大正区中泉尾出身の瀬古歩夢選手がF I F Aワールドカップ２０２６の日本代表に選ばれました。２６人のうち背番号２０ということです。６月１５日初戦のオランダ戦、オランダなんかめちゃくちゃ強いらしいんですけども、皆さんと一緒に応援していきたいと思います。今日、入口で玄関のところにね、瀬古選手の横断幕張らせていただきましたし、体育厚生協会さんが、懸垂幕作っていただきました。要は学校でね、誰々くん近畿大会出場おめでとうみたいな、そんな感じで出していきたいと思います。瀬古選手を応援することで、それ以外にもたくさん夢を持って一生懸命頑張ってる人たち、そんなそういう方々を皆さんと一緒に応援できる、そんなまちになればいいなと考えているところでございます。

本日はですね、１時間半ちょっと長丁場になりますけども、どうぞよろしく願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。

次に会議の進行につきましては、お手元の配付の資料と、あらかじめお送りさせていただきました資料を基に進めさせていただきたいと思います。議題に入ります前に、その都度資料の確認をさせていただきますが、事前にお送りさせていただいた資料を

お持ちでない方がいらっしゃいましたら、予備を御用意していますのでお申し付けいただきますようお願いいたします。資料は大丈夫でしょうか。

次に本日の会議は全て公開とさせていただきます。本日撮影させていただきました動画や写真、会議録等は後日区のホームページ等で公開させていただきますので御了承ください。なお本日は、メディアであるTHE大正さんの取材も入っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それではここで、お忙しい中、オブザーバーとして御参加いただいております皆様を御紹介させていただきます。

出雲市会議員です。

○出雲市会議員

皆さん、こんばんは。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

○西尾区政企画担当課長

小山市会議員です。

○小山市会議員

こんばんは。いつも大変お世話になっております。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

金城府議会議員と川岡府議会議員におかれましては、公務により欠席と伺っております。

続きまして令和8年度の人事異動に伴い、新たに着任した職員を紹介させていただきます。副区長の塚本でございます。

○塚本副区長

塚本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

防災防犯担当課長の上山でございます。

○上山防災防犯担当課長

上山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

こども・教育担当課長の二階でございます。

○二階こども・教育担当課長

こんばんは、二階と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

そして、事務局を担当します総務課担当係長の木村です。

○木村担当係長

木村と申します。よろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

そして、大正区の地域振興会より、御推薦をいただきまして区政会議委員に就任いただきました鷺見委員でございますけれども、一身上の御都合により、区政会議委員を辞任されたということでございまして、新たに区政会議委員に就任されました方を御紹介させていただきます。大正区地域振興会よりの推薦ということで小松委員です。どうぞよろしくお願いいたします。

○小松委員

どうも初めまして。小松と申します。

今年度4月から鶴町の町会連合会の会長、大石会長から引き継ぎました。そして、この5月25日に社会福祉協議会、まちづくり委員長も大石会長から引き継ぎを受けることになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事に入らせていただきます。ここからは議事進行を木幡議長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○木幡議長

議長を拝任しております木幡でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、議題の１に早速入らせていただきたいと思います。議題の１はお手元の次第のとおり、「令和７年度大正区運営方針」の振り返りについてということでございます。事務局のほうから御説明をお願いいたします。

○西尾区政企画担当課長

それでは議題１の説明に入ります前に、各議題のおおよその時間配分をあらかじめ御説明します。次第に書いておるんですけれども、議題１「令和７年度大正区運営方針」の振り返りについては、資料は事前に御確認いただいているということでございますので、事務局からの説明は要点を絞り３分までとして、その後、質疑・御意見・応答の時間を約２０分程度でお願いしたいと考えております。

続きまして、議題２「大正区の未来のファン」を増やすためのアイデアについて（グループ討議）は、説明を５分、グループ討議５０分を目安に進行をしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議題１について御説明いたします。事前に送付させております、書類番号１「令和７年度大正区運営方針」、ホッチキス留めの分と書類番号２「運営方針について」ということで運営方針はどんなものか書いている資料、この２つでございます。

今回、令和７年度の区政運営について振り返りを行い、自己評価を策定したのが書類番号１のところでございます。ちょうど運営方針の下欄に自己評価に係る部分を色付けさせていただいております。これが７年度の自己評価でございます。事前資料については、事前に御確認いただいておりますので詳細な説明は割愛させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○木幡議長

御説明ありがとうございます。

区役所から説明のありました「令和７年度大正区運営方針」の振り返りにつきまし

て、何か御質問、御意見などございませんでしょうか。いかがでしょうか。

はい、折田委員お願いいたします。

○折田委員

座ったままでいいですか。

○木幡議長

どうぞ、はい。

○折田委員

すみません。座ったままで失礼します。

重点的に取り組む経営課題、課題１の健康で安心して暮らせるまち「大正」というところの評価、令和８年８月頃判明と、がん検診とかのやつか、と喫煙率。これも令和９年３月頃判明となっているんですけど、現状達成できそうなのかどうか、現状のところをちょっと聞きたいなというところと、喫煙に関しては、結構ちょっと前から大阪市って、そもそも路上喫煙あかんくなってるけどどこ見てもほとんど、それに対応してるどころってないような気がしてて、なんかそれも含めて、減らすような対策として何か独自のことを何かしてるのかなっていうのは、ちょっと気になったんでお聞きしたいです。

ごめんなさい、まだ続くんですけども経営課題２のほうの地域で支え合う安全なまち「大正」のところの評価、これＡ評価になってるんですけど、なんでＡ評価なんかなっていうところ、昨年度が１０分の６で今年度が１０分の８になった。これをやかっていうとは思いますが、ちょっとそれをちゃんと聞きたいなっていうところで、経営課題３のところ、こどもの未来が輝くまち「大正」というところの、これの評価は去年度が前年度実績が８地域。これが今年度が９地域になっているけどもＢ評価何でっていうところ。このＡとＢの違いがちょっと僕にはよく分からなかったっていうところ。

すいません、まだ続きます。経営課題４のにぎわいと魅力あふれるまち「大正」っ

ていうところの評価なんですけども、ここのアウトカムには4か所の変動率について、令和4年度比較で上昇をめざす。目標年次は令和7年でいいんか、ここの右に書いてあるのは前年度実績が1、2、3、4。それに対して左のやつ、今年度のやつが上がってるからAですよってなってるんですけど、令和4年度比較で上昇をめざすっていうところに対しての何かそのアンサーがちょっと僕にはよく分からへんかったんで、ちょっとそこを聞きたいなっていうところ。実際のところ、これ物価が上がり続けているんで、そもそも、これ上がるんじゃないのっていうところ、それを自分たちの達成として見るのかどうかっていう、見てるのかどうかっていうところはちょっとお聞きしたかったんで、そんな感じです。以上です。

○木幡議長

ありがとうございます。

これに関しまして、区役所のほうからいただけますでしょうか。

○貴志保健福祉課長

皆さんこんばんは。保健福祉課長の貴志でございます。

先ほどの御質問の中で、まず保健福祉の分野、経営課題1のアウトカム等々の部分についてご説明をさせていただきます。がん検診と喫煙率の数字ですが、すいません、統計の集約の関係で正しい結果が出るのは、表に書かせていただいているとおり少し先になるんですけれども、まず、がん検診につきましては達成するかどうか正直微妙なところなんです。区役所では様々なイベントに出たときにがん検診の受付とかもさせていただいているんですけれども、まだ目標数値に達するだけの申し込みがギリギリかなと思っていますところであります。区役所ができることといえば、「がん検診は大事なので受けてくださいね」と周知することがメインになりますが、今後これまでやってきた広報などを見直しまして、効果的なやり方を検討してまいりたいと考えております。

もう一つの喫煙率に関しては、恐らくこれは達成できないであろうと思っています。

喫煙率について、タバコは体に悪いというのは、恐らく誰に聞いても体に悪いっ

という答えが返ってくるかと思うのですが、それが「吸っている方がやめる」という行動変容になかなか結びつきづらいところでもございます。大正区では様々な広報のほかに、昨年度、例えば、健康優良法人の資格を取っている企業の所長さんに講演いただいたり、5月の世界禁煙デーにちなんだイベント等々もさせていただいてるんですが、来られる方が「自分が吸っていて禁煙したい」からではなくて、もう既に健康に興味がある方、ほぼタバコを吸っておられない方がご参加される傾向もあると分析しておりますので、この点についても、もう少し効果的な方法がないかどうかを模索しながら、今後イベント等の改善につなげていって、少しでもこの数字に近づけるように努力してまいりたいというふうに考えております。1についての説明は以上でございます。

○上山防災防犯担当課長

続きまして、防災防犯担当課長の上山でございます。

御質問のございました経営課題2のアウトカム指標のところですね。7年度実績と達成状況の中で、10分の8地域で達成というのは、なぜかという御質問だったかと思うんですけども、こちらの個別避難計画の策定というのは、この上の段に書いてございます、アウトカム指標のところを見ていただきますと、地域との協働により、全10地域で個別避難計画を策定し、地域コミュニティにおける避難体制を確立する、ということで、全10地域を令和8年度ということで掲げさせていただいております。計画的に進めておりますので、7年度までで10分の8地域進めることができっておりますので、計画的には順調ですということで、7年度は達成で、8年度中に全10地域、残り2地域を進めてまいる予定でございます。以上でございます。

○二階こども・教育担当課長

失礼します。こども・教育担当課長の二階と申します。

経営課題3のアウトカム指標の居場所の設置の状況の達成がBとなっているのはなぜかという御質問でございますが、アウトカム指標のところで、居場所づくりについ

ては令和7年度に全10地域の設置をめざしておりましたので、令和6年度から比べますと1地域設置ができた状況ではございますが、まだ全地域に達していないというところでB評価とさせていただきました。引き続き未設置地域につきましては、居場所開設にかかる補助金制度もございますので、このような制度がありますよという周知も含めまして区社協やこども青少年局とも連携しながら、未設置地域ゼロをめざしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○細川地域協働課長

続きまして地域協働課長の細川でございます。

経営課題4番のアウトカム指標の達成状況のところですけども、こちらについては4年度の地価公示価格と比較して上昇をめざすということで毎年、前年度と比較する形で記載していきまして、実態としては、4年度よりも上がっているという結果となっています。また、御指摘いただきましたアウトカム指標の内容について、全体的に物価が上がっていることから、地価も上がるんじゃないかというご指摘ですが、そういう部分もあるというふうには思っております。ただにぎわいが活性化されいてるということの評価する項目がなかなか難しい状況もありまして、今は、こういうふうな形でさせていただいております。主な戦略として、にぎわいにつながるイベントへの支援を行うということで、その支援の数は徐々にですが伸びており、積極的に支援させていただいているところです。アウトカム指標は、今のところ、これで行かせていただいています。答えになっていないかもしれませんがよろしくお願いいたします。

○村田区長

先ほどの地価についての御質問の補足なんですけれども、これ4年、実を言いますと前のビジョンで令和4年度に比べてということであつたんですけど、そのときはコロナが終わったぐらいでなかなかこれからどうなるか分かれへんかったから、地価で頑張ろうということやったんですけども、万博もあって、この世の中こんなんできて、すごい上がったなというのが実感です。ただ課題も先ほど課長の細川が申し上

げましたとおり、駅前のにぎわい、これはできてます。地価の上昇率もかなり高いです駅前の。ただ、例えば国道43号から南ってというのはやはりにぎわいというのが、まだちょっと少ないかなというのは、それはもう当然感じているところです。ですので、駅前のにぎわいを南側に持ってくるのではなくて、南側のよさっていうのを、これから皆さんと一緒に発掘しながら、このエリアをちょっとずつでもいいから変えていきたいなというふうに考えております。確か今日の報道発表であったんですけれども、鶴町の緑地のほうですね。新しく開発事業者が決まったということもお聞きしております。これに合わせて先ほど鶴町の若手の方とメール、LINEでやり取りしてたんですけども、我々もこれに負けずやらないあかんとかね、そういう形できましたんで、やはりそういう取り組みを地域の皆さんと一緒に、次の議題にもなってくるんですけども未来のまちのファンを想像しながら、まちづくり一緒にしていければなというふうに思っています。そして結果として地価が上がればいいかなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○木幡議長

ありがとうございました。折田委員よろしいでしょうか。

ほか御意見、御質問ある方いらっしゃいませんかでしょうか。

山本委員お願いします。

○山本委員

すみません、山本です。

経営課題3についての質問なんですけれども、こどもの未来が輝くまち「大正」というところで、ここのアウトカムのところ、すいませんアウトカムのところばかりで申し訳ないんですが、こどもサポートネット事業でいろいろありますつないだ割合100%っていうふうになってまして、率直に100%ってすごいなって思ったんですけど、この100%達成するっていうことは、そういう拾い上げた子供を結構いろんな手段で送り届けていると思うんですが、この主な戦略のどこにも書いてるんです

けど、必要な支援括弧のところで教育的支援、福祉的支援、地域による関わりっていうので、どういう具体的な政策に持っていったのかっていうのをもう少しだけ詳しくお教えいただけますと幸いです。特に、地域による関わりというのはどういう形なのかなってというのが気になったので、よろしくお願いします。

○二階こども・教育担当課長

こども・教育担当課長の二階と申します。

こどもサポートネットのところですね。まず、その支援につないだ割合100%というところがございますけれども、「学習・登校サポート事業」であるとか、あと地域のところで申し上げますと、例えば、民生委員さんのところでもありますとか、適切な支援につないでいくというところで、100%間違いなくつないでいるんですけども、その先のそのつないだ先に、実際児童・生徒の状況が好転あるいは解決した割合というのは、決して高くはございませんので50%を切っているという状況もございますので、私どもとしましては、その支援につなぐだけでなく、その状況好転、解決した割合を高めるというところも今後の目標に据えて取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

地域の支援というのは引き続き民生委員の皆様をはじめ地域の皆様の御協力を得ながら、進めているところでございます。

○村田区長

実際とある地域の主任児童委員さんは、こどもサポートネットに上がってきた、あるいは要保護児童対策協議会で上がってきた、その児童ですね。課題のある家庭児童本当にずっと親身になって、常に見守っていただいていると、そういうふうなつながりっていうのも大事なかなと思ってます。そういうのに、こういう取り組みがつながっていけばなと。それで事業状態が好転していけばなというふうに思っております。

○信岡委員

民生委員の信岡なんですけれども、ここに書いてあります主な戦略のところにスクリーニング会議っていうのがあるんです。ただこれは各小学校、中学校で課題のある家庭をずっと挙げていく、課題も含めて名前を挙げるっていうような会議に民生委員主任児童委員は出てるんですけれども、この間のつながる場っていう、そういう会議がありまして、それは役所の方、そして私たち、そしていろいろ支援できる立場の方が出席して、これから個々の家庭に一つの家庭にどういう支援ができるか。それぞれの私たちだったらこういう支援をやっていきましょう。地域でできることは、ちょっとお掃除に行ったりね、ちょっと楽しむために一緒に御飯を作りましょうみたいなことなんですけれども、勉強を教える立場の人、それからその御家庭をサポートするためには区役所の方のどういうサポートを使えるかっていうようなことを具体的に考えていただける会議が、私あの会議はつながる場っていうのは、初めてああいう具体的にこれからの今後を見据えた対応だっていうことに、ちょっとこの会議があってよかったな、こういう会議があちこちその課題のある家庭のことで開いていっていただけたらありがたいなというふうにちょっと感じました。ついでで申し訳ないんですけど、今の子供のところの居場所が設置されている地域でありますけれども、この居場所というのはどういうところを指して、この8地域とか、9地域とか書かれてるんですけれども、どういう地域を指してられるんでしょうか。

○木幡議長

ただいまの御質問に対して、区役所のほうから説明をお願いします。

○二階こども・教育担当課長

今信岡委員から御質問ありました居場所につきましては、現在大正区内では9地域に13か所あることを把握しておりまして、具体的にはこどもさんに食事のみを提供しているケースもあれば、食事だけでなく例えば夏休みや冬休みの長期の休みの期間に、子供たちに勉強を教えている、いわゆる宿題カフェ的な感じで居場所を設置している地域もあるということで把握をさせていただいております。

○信岡委員

分かりました。各地域に定期的に宿題を教えて、遊びでいうと食事を提供してるね、定期的にされる地域もあるし南恩加島なんかやったら、ちょっとパンとジュース、小林もそうですよね、そういう支援っていうことを含めた、その地域の数ということですか。はい、ありがとうございました。

○木幡議長

山崎委員それじゃあ、はい。

○山崎委員

お疲れさまです、山崎です。

経営課題2なんですけども、主な戦略で津波避難マップの更新時により区民の防災意識の向上を図るとともに外国人への支援とありますけども、実際震災が起こったときに、避難する場所ってというのはやっぱり地域やと思うんです。その地域に外国の方へのおもてなし防災ツールってものの配布が、まずないのかなってところがちょっとあんまり行き届いてないのかなと思います。それで6月に防災訓練するところがちょっと多々あると思うんですけども、もちろん小林もするんですけども、その外国の方への対応ってというのが話題に一切上がってこないっていう現状もあります。でも、まちを歩けば、もう本当に大正区は外国人の方がすごい非常に多い現状でどこの国の方なのかも分からないっていう現状があるので、もうちょっと区役所のほうから地域のほうへ下ろしていただけるのであれば助かるのかなというところがあります。以上です。

○木幡議長

ありがとうございます。これについてすいません、お願いいたします。

○上山防災防犯担当課長

防災防犯担当課長の上山でございます。

御指摘、御意見ありがとうございます。これから地域の防災訓練など始まりますの

で、そのときにですね、できるだけ広報させていただこうかなと思うんですけれども、こちらに書いております「おもてなし防災」というのは、外国語のこういった、もしかしたら御覧になったことがあるかもしれないんですけれども、こういった貼り紙ですとかチラシですとか、そういったものを配布させていただいてる活動になっております。また、今年度も活用できたらと思っておりますので検討させていただこうと思います。御意見ありがとうございます。

○木幡議長

皆さん非常に活発な御意見、御質問ありがとうございます。時間にちょっと限りがございますので、ちょっと本日御発言いただけなかった方は御意見シートに記載いただきまして、また御提出をいただきたいと思います。ちょっと議事の都合上御質問は以上にさせていただきたいと思います。それでは、これにて議題1のほうは終了させていただきまして、大変皆さんの貴重な意見を今後の区政運営に生かしていただきたいと思います。

それでは次の議題2のほうに移らせていただきたいと思います。議題2のほうは、グループ討議ということで、「大正区の未来のファン」を増やすためのアイデアについて、皆さんのほうとグループ討議したいんですが、グループ討議の説明について区役所のほうからお願いしたいと思います。

○西尾区政企画担当課長

それでは私のほうから議題2について御説明させていただきます。事前を送付しております書類番号3ですね、令和8年度第1回区政会議のグループ討議資料というもの。そして、書類番号4ということで、ワークシートですね。テーマ「大正区の未来のファン」を増やすためのアイデアって書いてある部分でございます。それと、書類番号5ですね、区政会議での意見から考える大正区の強みと未来のファンについてということで、先ほど区長からも説明ありました4つのカテゴリーに分けた、この資料でございます。この3つの資料でのグループ討議ということになります。

それでは、このグループ討議なんですけれども、先ほど区長からもありましたように、前回の区政会議のテーマで大正区の強みとこれからのまちづくりについて討議いただきました。大正区ならではの強みや、大正区の未来ファンはどんな人ということで皆さんで御議論いただいておりますね、挙げていただいて書いていただいたところでございます。5月の広報誌「こんにちは大正」においても掲載させていただいております。その内容をまとめさせていただいたのが書類番号5ですね。先ほど説明があった4つのカテゴリーになっている部分でございます。区政会議の意見から考える大正区の強みと未来のファンについてでございます。そして、今回のテーマ「大正区の未来のファン」を増やすためのアイデアということで、大正区の未来のファンを増やすためにはどのような取り組みが効果的かについて御議論いただきたいと思います。ワークシートにもありますとおり、自分たちで始められることが一つですね。それと2番目としまして、住民・団体・企業・行政等が連携して、みんなでやっというような取り組みですね。これを具体的に挙げていただいて、御議論いただきたいと思います。その中で本日いただいた御意見についてはですね、今年度には作成する大正区におけるまちのランドデザインということで、大正区まちづくりビジョンを作成するという予定しておりますので、その参考にさせていただきますのでよろしくをお願いいたします。

それでは今からですね、グループ討議に入らせていただこうと思いますので議長、副議長はテーブルへ移動のほうをお願いいたします。そして区役所職員についても、またそちらのテーブルの周りで見させていただきますようによろしくお願いいたします。

〈グループ討議〉

〈グループ発表〉

○西尾区政企画担当課長

それでは皆さん、すごく熱い議論ありがとうございます。それではグループをまとめた主なアイデアを発表者が全体発表していただきたいと思いますので、よろしくお

願います。

それではAグループ、Bグループではないですけども、どちらか発表者の方、さきいきたいとか後からがいいとかありますでしょうか。

○西林委員

すいません、西林です。よろしくお願いします。

まず出てきたのがきれいな町にしたいなっていうのがありました。それを実際に三軒家西では実施されてて、すごくまちがきれいになると挨拶運動されてて、すごく実績も出てるよっていう。それで環境がよくなったら、本当にゴミ落とす人もなくなっていくっていう好循環になってるっていう話がありました。あとは僕らものづくりのほうに携わってる者からすれば、地域に帰ってくる仕組みをやっぱりつくりたいよねっていう話で、その情報発信を今後も続けていきたい。高校がなくなるっていうね、マイナス面はあるんですが、それを逆に逆手に取って、中学時代にしっかり戻ってくる、なんていうかな植え付けるって言ったらおかしいですけどね。高校は外に行くけど、大学は外に行くけど、大正区に帰ってきて働くみたいなそんな仕組みができればいいし、僕らとしてやっていけることは、情報発信、今から中小企業の地元の魅力発信をしっかり続けていきたいなっていう思いがあります。

ものづくりのほうで言えば、木幡さんがねずっと実行委員長されてた、ものづくりフェスタか。今年もありますし、それから派生して発明クラブみたいなのをつくって、塾をされてるね山本さん、山崎委員さんとかとコラボして、地域、子供たちが楽しめるそういうイベントをやっていったらいいんじゃないかなみたいな話も出ました。あと2番のほうで言うたら、出身者、著名人の出身者を呼んで講演会をするっていうことも面白いんじゃないかなみたいな話もあったりとか、防災意識が高い方が多いっていうのが今僕もすごく感じてるところであつたんで住民の方と企業をつなぐ何かイベントとか、そういうことを区役所さんとかからやっていただけたらありがたいなという意見もありました。そんなところですかね。あと、共通の部分であって、あれなんで

すけど地域それぞれの地域、大正区のそれぞれの地域がいい活動されてるのに、それが何ていうか横に広がっていかないみたいな、うちはいいいことやってるよ、この部分でいいことやってるよっていうのが、それぞれ地域であるんやけど、それが隣の地域行ったら、例えば名称すら違うイベントの名称すら違うとか、うちは3回やってて、いや4回5回やってくれって言われてるのに、ある地域では3回、一つのイベントですけど3回やって満足してるところもあったりとかっていう、ちょっと地域差があるっていうのがすごい課題ちがうかなっていう話になって、それがやっぱり共通の意識っていうか、地域をまたいで成長、お互いが成長させていける、そんな大正区になっていったらいいかなみたいな話になりました。以上です。ありがとうございます。

(拍手)

○木幡議長

ありがとうございました。

それでは山崎委員。

○山崎委員

こんばんは、山崎です。

私たちのところでざっと出たんが、やっぱり先ほどもありましたきれいなまちっていうのが、やっぱり一番初めに出了。きれいなまち、安心なまち、楽しいまちというのが出まして、やっぱりきれいなまちに住みたいよね、安心なまち、地域の子供は地域の大人が守っていこうよ。楽しいまちイベントたくさんで、楽しいまちっていうのが、やっぱり未来のファンが増えるんじゃないのか。それともう一つ歴史文化を残していこうと、精霊流しとか、いろんな歴史があるよね、そんなんも残していきたいよね、残していったほうがいいよねっていう話題が出了。

地域をアピールする場がほしいよね。地域のそのイベント事をアピールできる場がもっともっとあればいいんじゃないのかなと。企業も巻き込んで昔からの伝統を残していきたいね。祭りを通じて大人も楽しめる子供も楽しめる、子供だけじゃなくて大

人も楽しめるようなお祭りしていったらもっともっと盛り上がるんじゃないのかなっていう声が上がりました。イベントをやって、楽しかったねで終わるんじゃなくて、大人が子供を見守っているんだよっていうまち、人とのつながりっていうのも作れていけたら、もっともっとよくなっていくんじゃないかなっていうのがありました。

意識を広げるっていうことも出ました。いろんな世代との関わり、自分1人でできることっていうのが、意識を変える広げること、地域とのつながり、いろんな世代との関わりで、いい情報をもらう側じゃなくて発信する側になっていけたらもっともっという町っていうのを発信していけるんじゃないかなっていうのが出ました。

もう一つ大正区内だけでなく、ほかの言うたら、他区であったり他県であったりっていうところのいいところをもっともっと集めて、それを取り入れていけたらすごいもっともっというまちづくりになっていくんじゃないのっていう意見もありました。その例としまして、西淀川区の区政会議で出たのが外国の方の多言語がようさんある、もうそれどころじゃないっていう話になってて、英語やったり中国語やったり韓国語やったり何載したらええねんっていうので、一番分かりやすいのがピクトグラム、絵でお知らせをする。もうその絵を見たら一目で分かるっていうのがあれば、もっともっ外国人の方も大正区に入りやすいんじゃないのっていう案も出ました。

それと企業と団体、地域住民ができることなんですけども一番初めに出たのがイベントで地域対抗スポーツ大会をしていけば、その地域ぶつけたら盛り上がるよねってもっともっ盛り上がるよねって血の気の多い人が多いから盛り上がるよねっていう意見が出ました。子供の頃からの防災、楽しく防災を学ぶんならもっともっね、よくなっていくよって、すごいこれ画期的やなと思ったのが、空き地とか、URの団地とか広い公園などを利用して畑とか魚の養殖とかをして、大正区産の名物を作ったらすごい楽しいんじゃない、これはすごいいいなと思いました。口にできるものを食べられるものを大正区産でできたらすごい楽しいよねっていうので、和牛を作ろうという話になりました。大正和牛を作りましょう、ブランド牛ですね。作っていきましょう、

区長よろしくお願いします。もう一つ面白いなと思ったのが、ちょっとお金持ちの人を短期で1年とか半年とかのスパンで住めるようにステイできたら、もっともっと大正の魅力をなんていうのかな、広めれるんじゃないのかなって、一生住むんじゃないかなって、ちょっとお試しステイみたいな感じのところもあれば、楽しいんじゃないかなってありました。あと、防災訓練なんですけども土日、やっぱり多いのかなと思います。それで企業さんもやっぱりね、大正区におる企業さんなんで平日の日中の防災訓練というのは、企業さんも一緒になってできるすごいい企画やなと思いました。やっぱりいつ起こるか分からない、土日に起こるわけじゃないんでね、平日に起こったらどうなのって、そこの企業さんらはどこに逃げたらいいのって、分からへん。だから、平日の日中の防災訓練で企業さんも参加してもらって、ほんなら地域の人もお前あつこで働いてるのかって、うちの近所やんけっていう関わりも持てるよね、いいよねっていう話も出ました。

あとは、その企業さんで健康優良法人の企業さんがすごい多いっていうので、その企業さんが自社の社員だけでなく、地域の人らも呼んで健康のセミナーとかもしていただければ、もっともっと地域と企業が一つになれるんじゃないの、いいまちになるんじゃないのっていう意見になりました。

ほんで、だんじりっていうのがすごいいよねってなりました。だんじりっていうのがやっぱり重鎮の人、お年寄りがすごい上におって、その人らが尊敬されてて尊敬してるその人らの子供もそこに入りたいっていう憧れとかがあるだんじりっていうのがすごいいツールやなっていう話になりました。大正だんじり祭りをしましょう。こんなもんかな。大正区産の和牛を作りましょう、頑張りましょう。以上です。

(拍手)

○西尾区政企画担当課長

ありがとうございました。また、この意見につきましては、またまとめさせていただきまして、皆さんと今後のまちづくりに生かしていけたらなと思いますので、どう

ぞよろしく願いいたします。それでは議長、副議長は席にお戻りいただきますよう
よろしく願いいたします。

○木幡議長

皆さん本当に活発な御討議をいただきまして、ありがとうございます。私もグループ討議さしていただいて結構楽しくてですね、毎回このグループ討議大好きなんですけども本当に皆さん自由闊達にいろんな御意見をいただきまして、これからの本当に魅力につながるようないろんなアイデアが出て私も非常に楽しみに感じております。ぜひこれを区政にぜひ生かしていただきながら、よりよい大正区がまたなっていくようにですね、やっぱり祈念したいと思っております。本当に皆さんありがとうございました。

本日予定されている議題に関しましては以上で終了とさせていただきたいと思えます。皆様には議事進行に大変御協力をいただきましてありがとうございました。また、本日もし喋りきれていない部分はですね、また御意見シートに御記載いただいて、御提出いただければと思います。本日はどうもありがとうございました。

○西尾区政企画担当課長

木幡議長ありがとうございました。それでは先ほど木幡議長からもありましたように、本日まだまだ喋りたいと、喋りたらん、こんなアイデアがあんねんっていう方は、先ほどの木幡議長が言った御意見シートですね。御意見シートがございますので、御記入の上、6月5日金曜日までに御提出をお願いしたいと思います。もちろん金曜日を過ぎてもメール等でいただいたらまたいろいろと情報共有させていただきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本会議の結びに当たりまして区長の村田より御挨拶を申し上げます。

○村田区長

本日はいろいろと議論ありがとうございます。とてもいい御意見もいくつか、いくつかいうか、それぞれの意見がいいですね、和牛ね。アグー豚ではないですね、豚

ではなくて牛だと、ありがとうございます。ちょっと考えてみますとですね、この間ずっと議論してきた大正区のまちってどんなまちっていう、大正区のいいところってどんなところやろうっていうことを皆さんと、なんというか皆さんとお話ししてきたかなと思っています。大正区は御存知のように人口が今、この間の国勢調査では6万人ほどでした。これはずっと5万9,500人ぐらいや言うてたんですが、6万人ちょい上なんですけど。でも、右肩下がりで人口減ってきてるのは確かなんですね。何で減ってきてるか言うたら大多数の人は大正区に住むのが、んっと思ってるわけですね。でも楽しんでる人って、その中にはやっぱりいてるんですよ。先ほど、ちらっと左耳で聞こえてたんですけど、いい店あるっていうのを確かおっしゃってた、どなたかおっしゃってたと思うんですけど、大正区にいい店あると思うんです。鶴町にもいい店があります。大好きなパン屋さんあるんですけど。どこの地域にも一つは本当にいい店があると思うんですよ。そんなよさっていうのを皆さんと一緒に見つけていく。あそこにありますけど、ネイティブ大正区民が大正区の魅力に気づいてもらいたいということは、気づいてる人は少ないんですよ。でも逆に少ない人は気づいてて、実はその人が大正区のこと大好きで、大正区の将来のファンにつながってくるのかなというふうに思ってます。

今回の資料でお示しさせていただいた、もう一度資料5を見ていただきたいんですが、先日からの御意見で4つに類型、分類したと申し上げました。1つ目がつながり・受容ということで、ちょうどいい距離で、誰もが居場所を持てるまち。それでこんな人、どんな人をイメージしたんかなっていうのが、ちょうどいい距離の人好き、地域にまざれる人、こんな人が大正区のこと好きなんやろなと。それから次が安心・日常品質の高さということで、安心が日常にあるんですね。都心近くの穏やかなまちっていうのは、治安っていうのはもう大阪で一番犯罪の少ないまち、大正区なんですけども安心が日常にある。そんなところでは、穏やかに暮らしたい子育て・健康志向のファミリー層というのがイメージされるんじゃないかなというふうにまとめました。

それから次、裏のページなんですけども、3つ目として風景資産・物語、空と水辺と昭和が、毎日にあるまちということで、なんか三軒家西あたりからの路地から見る京セラドームって、すごいなんか昭和感と未来感が両方あるような感じもありますし、南のほうに行けば本当に空が広い、この抜け感、そして海が近くにあるそんな町っていうのはなかなかないんじゃないかなと海辺・空・レトロにときめく“まち歩き／写真／文化”が好きな人が、そんなイメージかなと。それから4つ目が、ものづくり・挑戦ということで、つくる力で、挑戦が回り、また帰ってくることができるまち。もう一度やりたいを応援してほしい“再チャレンジ”層、こんな人が実は大正区のこと好きなんじゃないかなということで、皆さんのこの間からの意見を取りまとめると、こんな形になりました。こういった人が多分、よりよいまち、よりよい大正区。そして、大正らしさを育てていくんじゃないかなというふうに思ってます。こんな人が増えれば、多分エリアの価値、地域のよさが高まっていくんじゃないかなというふうに考えております。

これからは皆さんの御意見も参考にしながら、大正区についてS W O T分析、強み・弱み・機会・脅威を分析するとともにですね、大正区のイメージ、ほかのまちとの違いって何やねんと、大正区のまちと。エッジ効かしたらいいと思うんですよ、もうここまできたら。エッジの効いたまちがいいと思うんですよ、そんなまちにするために、どこを伸ばしていったらええねんというのを少し意識しながら、守る・育てる・攻める取り組みがどれであるか、この中にも多分、そういう取り組みが多分入っていると思います。それをしっかりとまちづくりビジョンに反映していきたいなというふうに思いますので、どうぞよろしくお願いします。本当に今日は参考にさせていただきます。ありがとうございます、勉強になりました。

○西尾区政企画担当課長

皆さんありがとうございました。それではこれを持ちまして、本日の区政会議を閉会とさせていただきます。

次回の区政会議は9月18日金曜日でございます。9月18日の金曜日でございます。御予定に入れとさせていただきますようによろしくお願いいたします。また、お帰りの際は1階の玄関が閉まっておりますので、2階の玄関を御利用いただきますようよろしくお願いいたします。

本日はどうも遅くまでありがとうございました。

—了—